令和５年度碧南ふれあい作業所指定管理者審査委員会次第

日時　令和５年８月８日（火）
午前１０時から午前１１時３０分まで
場所　碧南市役所２階　会議室３

１　あいさつ

２　議題

(1) 令和４年度事業報告及び収支決算について

(2) 令和５年度事業計画及び収支予算について

(3) その他

碧南ふれあい作業所指定管理者審査委員会委員

	区分	選出団体名等	氏名	役職名
1	市職員	碧南市副市長	金沢　宏治	委員長
2	学識経験を有する者 （市長が必要と認める者）	東海税理士会刈谷支部支部長	伴野　義雄	
3		日本福祉大学教授	青木　聖久	
4	各種団体を代表する者 （市民の代表）	碧南市民生委員児童委員協議会代表	古久根久美子	
5		ＮＰＯ法人ゆるりん理事長	磯貝　厚子	
6	市職員	碧南市経営企画課長	杉浦　英樹	

任期：令和５年７月１日から令和８年６月３０日まで

事務局等

1	事務局	福祉こども部長	深津　広明
2		福祉課長	山本　貴史
3		福祉課社会福祉係長	山本　昌弘
4	碧南ふれあい作業所	碧南ふれあい作業所所長	水谷　公治
5		社会福祉法人ＷＨＪ理事長	竹内　　涼
6		社会福祉法人ＷＨＪ法人本部経理部長	熊本　直孝

令和４年度　　碧南ふれあい作業所事業報告書

Ⅰ．施設概要　利用実績

施設種別	生活介護・日中一時
事業所番号	２３１３２０００２０
所在地	愛知県碧南市中山町１－１６－１
事業開始日	平成８年７月１日
障害種別	指定なし
定員	生活介護　６０名　　日中一時　７０名
開所日/時間	月曜日～金曜日　９：３０～１６：００

A. 登録市町村 碧南市

B. 利用実績

	生活介護	日中一時	事業活動収入計 職員数合計
利用定員	60人	70人	
利用者延数	13991人	421人	
１日平均利用者数	56人	22人	
稼働率、稼働指数	94.0%	31.7%	
稼働日数	248日	19日	
単価（一人一日当たり）	7,563	5,457	
介護給付費等収入	105,811,709	2,297,400	
職員数（常勤換算）	11.7		

Ⅱ．事業計画・目標の達成状況

A.　運営目標・理念

「安心・安全にすごせる場所」「毎日ほんの少しの変化を感じ取れるように目標を持って過ごしていただく」

・生活介護：利用者も職員も個別支援計画を意識した支援を行い、やりがいを増やす

⇒個別支援計画を一覧にすることで、正規職員はもちろん非常勤職員も意識して支援に当たることができるようになった。ただ個々の職員のスキルアップを意識したが、チームとしての意識はまだ高くないと思われるため、令和５年度はチームビルディング等を内部研修で実施していく。

利用者の高齢化が顕著となっているため、療育班の充実を図った。令和５年度は高齢班を実現化し、専門的な観点からの支援を行っていく。

・日中一時：月に１度の楽しみとして日常とは違う１日を提供する

⇒新型コロナウィルス蔓延のため外出企画はやめ、事業所内での活動を行った。令和５年度は外出企画を行っていき、マンネリ化を防ぐ。また夏休み、冬休みの児童受入れを行ったが、放課後の日中一時を辞めたことで利用者の減少は余儀なくされた。

B.　事業計画

・生活介護　（定員６０名）

利用者の高齢化に対する支援の在り方

⇒６０歳以上の利用者を対象に館内でのレクレーションや喫茶活動を提供した。利用者本人の自尊心を大切にし、仕事との両立を考えながら活動を行う。令和５年度は高齢班を置き、担当職員には専門的な知識を持って活動を提供できるようにしていく。

職員の専門的な知識・技術の向上を図る

⇒重度障害者支援加算を取得しているふれあい作業所では必須である強度行動障害研修を全員受けることができた。令和５年度はチームとして意識を持てるような研修にも参加し、事業所内では利用者の気持ちを知る研修も行っていく。

・日中一時　（定員７０名）

⇒月１回の土曜日の余暇支援もコロナ過という事もあり、事業所内での活動に制限された。マンネリ化にならないよう職員の意見を取り入れて企画した。

児童の受け入れも夏休み・冬休みに行った。児童受入れについては、将来生活介護での受け入れを視野に入れ、熟考していく必要がある。

C.　研修計画

・一般職員

専門的な知識・技術向上の研修に参加し、職員本意ではなく利用者目線で支援を行えるようになる。

⇒【外部】: 強度行動障害基礎研修・実践研修、サービス管理責任者基礎研修、

【内部】: 法人全体研修

・リーダー職員

個々の職員をチームとしてまとめ、人材育成を意識できるようになる。

⇒【外部】: 権利擁護研修

【内部】: 志賀道場(次期リーダー)

Ⅲ．対処すべき課題

・利用者の高齢化・重度化に対する支援

⇒高齢班を確立する。高齢利用者の意思を尊重しながら仕事と両立させ、安全かつ、やりがいや生きがいを持って通えるためのプログラムの構築が求められる。

・新規利用者の獲得

⇒利用者の減少により収入の減少も目立ってきているため新規利用者の獲得が重要となっている。作業所の特徴である、紙すきや花苗等の「作業に特化した事業所」ということを前面に出し、卒業後の進路の一つとして考えてもらい、中途も含めて令和５年度中に新規利用者３名を目指す。

・地域交流

⇒紙すきや花苗を通じて幼稚園・保育園・小中学校との交流を図り、幼少期から障害者とふれあえる機会を作る。イベント等で紙すき体験の場を設ける。

・チームとしての支援をしていく

⇒一人の支援者としての意識向上や技術向上はもちろん、チームとしての支援を行うことで利用者が混乱なく事業所で過ごすことができる。内部でチームビルディング研修等を行い、個性ある職員が同じ目的を持って

支援を行い、チームとしての意識の向上を図る。全職員が支援者のプロとして自覚し、情報を共有し合い、統一した支援を行える環境を目指していく。

・施設整備・修繕

⇒固定資産購入：令和６年度中にマイクロバスの入れ替えを行ってもらえるよう碧南市と協議していく。

修繕：玄関扉や部屋の扉、エアコンの取り替え等の修繕も碧南市と計画的に協議する。

Ⅳ．利用者の状況

事業名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和4年度	令和3年度
生活介護	延べ人数	1199	1128	1285	1195	1103	1122	1182	1271	1022	1049	1135	1300	13991	14467
	一日平均	60.0	59.4	58.4	56.9	52.5	56.1	59.1	57.8	48.7	55.2	56.8	56.5	56.4	58.6
	営業日数	20	19	22	21	21	20	20	22	21	19	20	23	248	247
	利用率	99.9%	98.9%	97.3%	94.8%	87.5%	93.5%	98.5%	96.3%	81.1%	92.0%	94.6%	94.2%	94.0%	97.6%
日中一時（成人）	延べ人数	37	36	34	38	33	31	40	37	5	37	43	43	414	138
	営業日数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	34
日中一時（児童）	延べ人数				2	2				1		1	1	7	266
	営業日数				2	2				1		1	1	7	110

Ⅴ．職員の状況

職種	配置		男		女		就職転入		退職転出		比較増減	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
管理者	1				1							
サービス管理責任者	2				2							
生活支援員	6	12	1	5	3	9						
看護師		3				3		1		2		-1
調理員												
合計	9	15	1	5	6	12	0	1	0	2	0	-1

第一号第四様式（第十七条第四項関係）

碧南ふれあい作業所拠点区分資金収支計算書

（自）令和 4年 4月 1日（至）令和 5年 3月31日

（単位：円）

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)−(B)
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	111,997,000	113,698,365	△1,701,365
		自立支援給付費収入	105,530,000	106,776,615	△1,246,615
		利用者負担金収入	5,000	5,600	△600
		特定費用収入	3,700,000	3,673,900	26,100
		その他の事業収入	2,762,000	3,242,250	△480,250
		その他の事業収入	6,000,000	6,643,811	△643,811
		その他の事業収入	6,000,000	6,643,811	△643,811
		受取利息配当金収入	10,000	7,122	2,878
		受取利息配当金収入	10,000	7,122	2,878
		その他の収入	1,440,000	1,942,700	△502,700
		受入研修費収入	40,000	57,000	△17,000
		利用者等外給食費収入	1,400,000	1,265,700	134,300
		雑収入		620,000	△620,000
		事業活動収入計(1)	119,447,000	122,291,998	△2,844,998
	支出	人件費支出	84,200,000	82,533,987	1,666,013
		職員給料支出	36,100,000	36,031,703	68,297
		職員賞与支出	7,850,000	7,745,718	104,282
		非常勤職員給与支出	28,700,000	27,241,285	1,458,715
		退職給付支出	1,550,000	1,539,650	10,350
		法定福利費支出	10,000,000	9,975,631	24,369
		事業費支出	23,335,000	22,981,546	353,454
		給食費支出	5,000,000	4,986,820	13,180
		保健衛生費支出	1,560,000	1,558,602	1,398
		被服費支出	22,000	12,229	9,771
		教養娯楽費支出	550,000	490,767	59,233
		日用品費支出	38,000	1,518	36,482
		本人支給金支出	5,550,000	5,549,980	20
		水道光熱費支出	5,690,000	5,689,994	6
		燃料費支出	5,000		5,000
		消耗器具備品費支出	400,000	284,607	115,393
		保険料支出	30,000	20,766	9,234
		賃借料支出	110,000	105,124	4,876
		教育指導費支出	1,500,000	1,478,706	21,294
		葬祭費支出	350,000	281,160	68,840
		車輌費支出	2,520,000	2,518,673	1,327
		雑支出	10,000	2,600	7,400
		事務費支出	8,710,000	8,416,327	293,673
		福利厚生費支出	250,000	197,368	52,632
		職員被服費支出	20,000	8,191	11,809
		旅費交通費支出	30,000	9,390	20,610
		研修研究費支出	300,000	280,210	19,790
		事務消耗品費支出	321,000	320,600	400
		印刷製本費支出	300,000	260,063	39,937
		修繕費支出	455,000	454,421	579
		通信運搬費支出	250,000	236,681	13,319
		広報費支出	20,000		20,000
		業務委託費支出	3,500,000	3,489,969	10,031
		手数料支出	50,000	20,227	29,773
		保険料支出	680,000	674,746	5,254
		賃借料支出	754,000	751,713	2,287
		土地・建物賃借料支出	120,000	120,000	
		租税公課支出	150,000	131,700	18,300
		保守料支出	1,400,000	1,397,788	2,212

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)−(B)
		渉外費支出	10,000	2,160	7,840
		諸会費支出	90,000	59,800	30,200
		雑支出	10,000	1,300	8,700
		事業活動支出計(2)	116,245,000	113,931,860	2,313,140
	事業活動資金収支差額(3)=(1)−(2)		3,202,000	8,360,138	△5,158,138
施設整備等による収支	収入				
		施設整備等収入計(4)			
	支出	固定資産取得支出	200,000	187,000	13,000
		器具及び備品取得支出	200,000	187,000	13,000
		施設整備等支出計(5)	200,000	187,000	13,000
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)−(5)		△200,000	△187,000	△13,000
その他の活動による収支	収入				
		その他の活動収入計(7)			
	支出	拠点区分間繰入金支出	2,000,000	2,000,000	
		拠点区分間繰入金支出	2,000,000	2,000,000	
		その他の活動支出計(8)	2,000,000	2,000,000	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)−(8)		△2,000,000	△2,000,000	
予備費支出(10)			1,002,000	—	1,002,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)−(10)				6,173,138	△6,173,138

前期末支払資金残高(12)		78,735,966	△78,735,966
当期末支払資金残高(11)+(12)		84,909,104	△84,909,104

碧南ふれあい作業所　令和５年度事業計画

Ⅰ．基本理念

・「作業に特化した生活介護」　社会人として毎日仕事をしながら、生活介護としてのプログラムや楽しみもある施設。仕事と余暇のメリハリのある生活を目指す。

・「高齢利用者の活躍の場を」　高齢になってもできる仕事に取り組み、いつまでも社会の一員として働ける環境を提供し、高齢になった人生の生きがいを一緒に見つける。

運営方針

・作業所は生活介護としては作業量が多いのが特徴であり、利用者の方も「仕事に来ている」という意識の方が多い。また家族も「就職してほしい」という思いから作業所を選択される方が多い。他の生活介護事業所にはない特色であり、ある程度の収入を得られることを強みとして今後も維持・向上を図っていく。また新規利用者にも繋がることでもあるので、そこをアピールする機会を設けていく。紙すきや花苗など特化した作業もあり、こういったものを通じて地域交流を図っていく。作業とは別に、月に１度の創作活動や季節にあった行事なども積極的に取り入れ、仕事と余暇のメリハリのある生活を送れるように支援していく。

・高齢になってもいままでの仕事や経験を尊重しながら、本人に合ったものを提供していく。ただ作業所ですごすだけではなく、本人が目的や楽しみを持って毎日すごせるような環境を整える（毎日作業が難しい方は次の行事の準備などをしてもらう等)。

・令和６年度に指定管理期間が終了することに伴い、その後の運営について碧南市と協議を進めている。指定期間が外れることも想定されるため、修繕等を計画的に行っていく。

Ⅱ．事業計画

２０２２年度計画の振り返り

生活介護（定員６０名）

・今年度より虐待防止委員会の設置が義務付けられたため動画を見る研修を実施。全職員に虐待や権利擁護に関する資料を配布し、説明をしている。

・外部講師を招いてのプログラムは新型コロナウイルスの影響で行うことができなかったが、来年度は規制も緩和されるため以前の状態に戻していく予定。行事としては班別企画の外出を計画する班が多かった。社会見学は少人数のグループに分かれそれぞれ企画を立てて実施。作業所内でのイベントは減らすことなく感染症対策に気を付けながら開催することができた。

・利用者家族に作業所に来て頂き、利用者の方と１日すごしながら作業体験をしたり日中の様子を見られる機会を設けたかったが、作業所内での新型コロナウイルスの流行が何度かあり実現することができなかった。

○現状分析・課題

・本人・家族の高齢化が著しく、ここ数年の間に家庭事情による退所が相次いだ。本人の体力の問題もあるが、親が高齢になり本人のケアができなくなったり、今後の話し合いをすることが難しくなってきている。作業所は５０代以上利用者の方が約半数を占めているため今後もこのような状況が続くと考えられる。家庭力が低下してきた時に作業所としてどのような支援をしていくのか、またどのように他のサービスに繋げていくのか、職員も意識しながら支援をしていく必要がある。そのため事業所としては高齢障害の利用者の方が安全にかつ、やりがい・生きがいを持って通えるためのプログラムの構築が求められている。

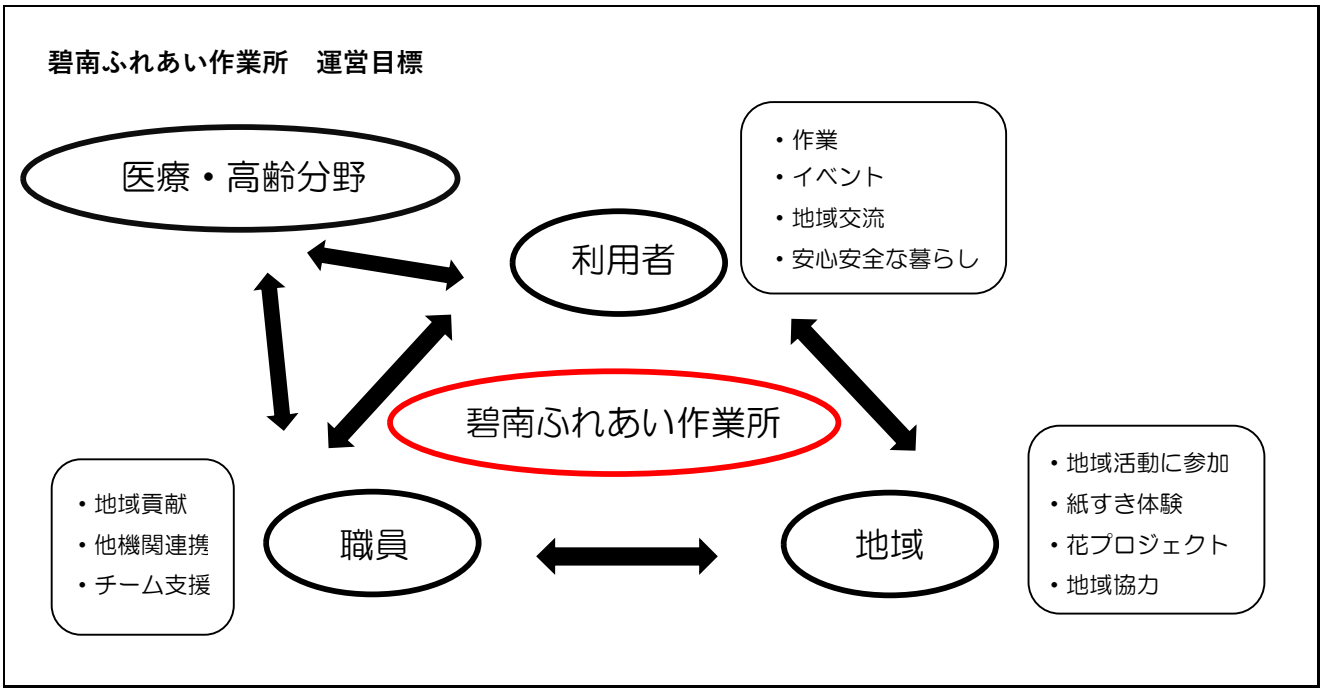
・利用者の人数減により収入も減少してきている。相談支援事業所、特別支援学校と連携し、新

規利用者を確保する必要がある。

日中一時支援事業（定員７０名）

・社会情勢を考慮して作業所内でのプログラムで行った。１２月は作業所内での感染が拡大していたためホーム利用者に限定して実施した。

A.　運営目標・事業計画



① 新規利用者３名を目指す

来年度卒業生を含め、2023 年度中に３名を目指す。卒業生はもちろん、地域で行き場のない方々を受け入れられるような体制を作り、相談支援事業所や特別支援学校と連携を図っていく。

② 地域交流

紙すきや農園の花苗を通じて幼稚園・保育園、小中学校との交流を図る。障害者のある方のことを知ってもらうために学校に赴き、車椅子体験やうまく自分の思いを言語化できないもどかしさの体験をしてもらう。

イベント等で紙すき体験の場を設ける（年２回)。

花苗という作業所のツールを活用し、市内幼・保育園との交流を図り、幼少期から障害者とふれあえる機会を作る。

③ 高齢班の確立

経験を尊重し仕事との両立をする。本人の意思を確認しプログラムを作成し、週１回以上の活動を目指す。喫茶活動や創作活動、体力維持のための体操等、本人たちにあった活動を考えていく。定期的に体力診断を行い、体力の把握にも努めていく。数値化することによって、以前と比較して老化の進行がより分かりやすく把握できる。

④ チームとしての支援をしていく

一人の支援者としての意識向上や技術向上も研修等で身に付けていくことが必要だが、チームとしての支援を行うことで利用者が混乱なくふれあい作業所で過ごすことができる。チームビルディング研修等を事業所内で行い、個性ある職員が同じ目的を持って支援を行い、チームとしての意識の向上を図る。全職員が支援者のプロとして自覚し、情報を共有し合い、統一した支援を行える環境を目指していく。

B.　数値目標

	碧南ふれあい作業所
利用定員	60人
利用者延数	14,200人
１日平均利用者数	58.0人
稼働率、稼働指数＊	96.7%
稼働日数	245日
障害福祉サービス収入	110,000千円
職員数（常勤換算）	15.1人

Ⅲ．職員について

配置計画

従業者の職種・員数	職種		サービス管理責任者		看護職員		生活支援員		調理員	
	専従・兼務の別		専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務
常勤（人）	①	②	2				6			
非常勤（人）	③	④			2		12		1	1
当該職種の勤務延べ時間数			300		165.00		2,112		161	
常勤換算後の人数			1.9		1.10		13.20		1	

研修計画

・事業所内研修：利用者の気持ちを知る研修、虐待防止委員会研修、チームビルディング研修

・個別の研修計画　別紙参照

Ⅳ．年間事業（行事）計画

Ⅴ．年間事業（行事）計画

区分	内　　容
全体地区行事	ふれあいまつり　碧南地区運動会
地域参加行事	元気ッス！へきなん　きらきらウォーク
事業所行事	社会見学　ハロウィンパーティー　クリスマス会　もちつき大会
保健・医療・衛生管理	利用者健康診断　職員健康診断　インフルエンザ予防接種
職員会議	職員会議（週１回）　身体拘束適正化委員会（月１回）　虐待防止委員会
保安防災対策	防災・避難訓練（年４回）

Ⅴ．固定資産購入、修繕等

・マイクロバスの入れ替え、館内のエアコンの交換

資金収支次期当初予算

令和5年4月1日

(単位:円)

勘定科目			当年度予算額	次期予算額	増減
事業活動による収支	収入	0184障害福祉サービス等事業収入	111,997,000	103,805,000	△8,192,000
		0185自立支援給付費収入	105,530,000	98,000,000	△7,530,000
		8352利用者負担金収入	5,000	5,000	
		8371特定費用収入	3,700,000	3,500,000	△200,000
		0187その他の事業収入	2,762,000	2,300,000	△462,000
		0195その他の事業収入	6,000,000	6,000,000	
		0196その他の事業収入	6,000,000	6,000,000	
		0200受取利息配当金収入	10,000	7,000	△3,000
		8541受取利息配当金収入	10,000	7,000	△3,000
		0201その他の収入	1,440,000	1,840,000	400,000
		8611受入研修費収入	40,000	40,000	
		8612利用者等外給食費収入	1,400,000	1,200,000	△200,000
		8613雑収入		600,000	600,000
		事業活動収入計(1)	119,447,000	111,652,000	△7,795,000
	支出	0129人件費支出	84,200,000	78,700,000	△5,500,000
		7112職員給料支出	35,700,000	31,000,000	△4,700,000
		7113職員賞与支出	7,850,000	7,700,000	△150,000
		7114非常勤職員給与支出	29,200,000	29,000,000	△200,000
		7116退職給付支出	1,550,000	1,500,000	△50,000
		7117法定福利費支出	9,900,000	9,500,000	△400,000
		0130事業費支出	23,335,000	22,375,000	△960,000
		7211給食費支出	5,100,000	5,100,000	
		7215保健衛生費支出	1,300,000	1,200,000	△100,000
		7217被服費支出	22,000	20,000	△2,000
		7218教養娯楽費支出	550,000	500,000	△50,000
		7219日用品費支出	38,000	10,000	△28,000
		7222本人支給金支出	5,700,000	5,600,000	△100,000
		7223水道光熱費支出	5,600,000	5,000,000	△600,000
		7224燃料費支出	5,000		△5,000
		7225消耗器具備品費支出	400,000	350,000	△50,000
		7226保険料支出	30,000	25,000	△5,000
		7227賃借料支出	110,000	110,000	
		7228教育指導費支出	1,600,000	1,600,000	
		7231葬祭費支出	350,000	350,000	
		7232車輌費支出	2,520,000	2,500,000	△20,000
		7235雑支出	10,000	10,000	
		0131事務費支出	8,710,000	8,670,000	△40,000
		7311福利厚生費支出	250,000	250,000	
		7312職員被服費支出	20,000	10,000	△10,000
		7313旅費交通費支出	30,000	40,000	10,000
		7314研修研究費支出	300,000	300,000	
		7315事務消耗品費支出	300,000	300,000	
		7316印刷製本費支出	300,000	300,000	
		7319修繕費支出	400,000	400,000	
		7321通信運搬費支出	250,000	250,000	
		7323広報費支出	20,000	30,000	10,000
		7324業務委託費支出	3,500,000	3,500,000	
		7325手数料支出	50,000	50,000	
		7326保険料支出	750,000	750,000	
		7327賃借料支出	800,000	800,000	
		7328土地・建物賃借料支出	120,000	120,000	

事業・拠点　[0404: 碧南ふれあい作業所]

資金収支次期当初予算

令和5年4月1日

(単位:円)

勘定科目			当年度予算額	次期予算額	増減
		7329租税公課支出	150,000	100,000	△50,000
		7331保守料支出	1,300,000	1,300,000	
		7332渉外費支出	10,000	10,000	
		7333諸会費支出	150,000	150,000	
		7335雑支出	10,000	10,000	
		事業活動支出計(2)	116,245,000	109,745,000	△6,500,000
	事業活動資金収支差額(3) = (1)- (2)		3,202,000	1,907,000	△1,295,000
施設整備等による収支	収入				
		施設整備等収入計(4)			
	支出	0144固定資産取得支出	200,000		△200,000
		7524器具及び備品取得支出	200,000		△200,000
		施設整備等支出計(5)	200,000		△200,000
	施設整備等資金収支差額(6) = (4)-(5)		△200,000		200,000
その他の活動による収支	収入	0214積立資産取崩収入		9,000,000	9,000,000
		8853その他の積立資産取崩収入		9,000,000	9,000,000
		その他の活動収入計(7)		9,000,000	9,000,000
	支出	0160拠点区分間繰入金支出	2,000,000	10,000,000	8,000,000
		7672拠点区分間繰入金支出	2,000,000	10,000,000	8,000,000
		その他の活動支出計(8)	2,000,000	10,000,000	8,000,000
	その他の活動資金収支差額(9) = (7)-(8)		△2,000,000	△1,000,000	1,000,000
予備費支出(10)			1,002,000	907,000	△95,000
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9)-(10)					

前期末支払資金残高(12)			
当期末支払資金残高(11)+(12)			

碧南ふれあい作業所　事業所紹介

日中の活動について

ふれあい作業所では療育・身体・精神の手帳を持っている方を対象に様々な作業や行事を行っています。作業は自主製品班・農園班・下請け班・ステップ班の４つに分かれ、それぞれのスケジュールに沿って毎日活動をしています。作業内容は様々で利用者の方１人１人に合ったものを提案できるように心がけています。

また 2023 年度から高齢班(ピース班)の活動を本格的に開始しました。今までつちかってきた経験を尊重し、作業以外に余暇活動を充実させることで生きがいを見つけられるものにしていきたいと思っています。

ご本人・家族の方とは年度末に面談を行い、次年度の目標を立てています。目標は本人主体の目標を立て、本人のやる気を引き出すような支援をしています。

新型コロナウイルスも５類となったことで、各班で外出等の企画も考えています。

【自主製品班】所属人数　２２名
活動内容　紙すき製品、名刺印刷、アクリルたわし、編みぐるみ　等

●特　徴●

作業所では葉書・色紙・封筒・名刺などの紙すき製品をすべて牛乳パックを再利用して作っています。作業所の紙すきはとても評判がよく、全国から注文を頂いています。紙すきは作業工程も多く、天候などによっても左右されてしまうため大量生産はできませんが、１つ１つ丁寧に作っています。

紙すき以外にもアクリルたわしや編みぐるみなどを作って販売しています。また名刺の注文も増えています。

【下請班】　所属人数　２１名
活動内容　自動車部品の加工、手袋の成型・袋詰め　等

●特　徴●

下請け班では自動車部品の加工や、手袋の成型作業を行っています。

利用者の方は職員以上に作業に慣れているため量が多くても納品までにきちんと作業をおえることができています。

工場から作業を頂いているため社会情勢に左右されやすく、作業がない日もあります。そのような時は散歩や知育遊びなどを取り入れて一人一人の特性に合った活動を取り入れています。

【農園班】　　所属人数　１４名

活動内容　花苗栽培、市内花壇植替え、アルミ缶リサイクル、EM ボカシ　等

●特　徴●

農園班は、花苗を種から栽培して販売したり、市内の公園や公的機関などの花壇の管理や植え替え、また近隣の福祉施設等にも配布しています。花が好きな利用者の方が多いためみんなで大事に花を育てています。

農園は屋外での作業が中心のため利用者の方の健康管理には十分配慮しながら活動しています。特に真夏は屋外での作業をできるだけ減らし、水遊びや室内で工作などをして過ごすようにしています。

【ステップ班＆ピース班】所属人数　５名

活動内容　工作、外出、各班の作業補助　等

●特　徴●

ステップ班は、毎日作業に取り組むことが難しい方達が知育遊びや工作・調理実習を行ったり、散歩に出かけたりして過ごしています。療育的な活動が中心ですが、作業を行うこともありメリハリのある生活ができるようにしています。また高齢となった利用者に喫茶活動や余暇活動を提供するピース班の活動を本格化しました。

スタッフ会議について

毎月１回、利用者と職員が集まり作業所のことについて話し合いをしています。行事について話し合うことがほとんどですが、利用者の方の意見や希望を聞くいい機会にもなっています。特に創作活動で何を作りたいか、式典やイベントでの役割を決める時などはみんな積極的に発言をしてくれています。自分達の意見が反映されることによってやりがいやいい施設作りに繋がっていくと考えています。

厨房について

作業所の利用者数名が厨房内の洗い物や調理補助を行っています。同法人の就労系事業所「ふれあい工房アルゴ」からも利用者の方が来られ、盛り付けや配膳、翌日の仕込みを手伝っています。

また包丁を使っての調理や味付けも利用者の方に行ってもらい、本人のやる気を高められるような支援をしています。

厨房に入るということで衛生面には十分気を付けており、手洗いや消毒は特に徹底して行っています。

事 業 活 動 収 支 計 算 書

（自）令和 4年 4月 1日（至）令和 5年 3月31日

（単位：円）

勘定科目			当期残高	前年同月	増減	前年比
サービス活動増減の部	収益	0075 障害福祉サービス等事業収益	113,698,365	120,125,112	△6,426,747	94.65
		0076 自立支援給付費収益	106,776,615	113,660,135	△6,883,520	93.94
		5341 介護給付費収益	106,776,615	113,660,135	△6,883,520	93.94
		5352 利用者負担金収益	5,600	4,400	1,200	127.27
		5364 特定費用収益	3,673,900	3,297,300	376,600	111.42
		0078 その他の事業収益	3,242,250	3,163,277	78,973	102.50
		5371 補助金事業収益(公費)	805,350	799,677	5,673	100.71
		5372 受託事業収益(公費)	2,436,900	2,363,600	73,300	103.10
		0086 その他の事業収益	6,643,811	5,918,192	725,619	112.26
		0087 その他の事業収益	6,643,811	5,918,192	725,619	112.26
		5523 その他の事業収益	6,643,811	5,918,192	725,619	112.26
		サービス活動収益計(1)	120,342,176	126,043,304	△5,701,128	95.48
	費用	0015 人件費	82,121,987	77,243,847	4,878,140	106.32
		4112 職員給料	36,031,703	32,113,514	3,918,189	112.20
		4113 職員賞与	7,745,718	8,796,330	△1,050,612	88.06
		4114 賞与引当金繰入	△412,000	△268,000	△144,000	153.73
		4115 非常勤職員給与	27,241,285	26,218,791	1,022,494	103.90
		4117 退職給付費用	1,539,650	1,548,950	△9,300	99.40
		4118 法定福利費	9,975,631	8,834,262	1,141,369	112.92
		0016 事業費	22,981,546	21,925,254	1,056,292	104.82
		4211 給食費	4,986,820	5,458,943	△472,123	91.35
		4215 保健衛生費	1,558,602	1,556,950	1,652	100.11
		4217 被服費	12,229	13,153	△924	92.97
		4218 教養娯楽費	490,767	345,463	145,304	142.06
		4219 日用品費	1,518	1,751	△233	86.69
		4222 本人支給金	5,549,980	5,552,620	△2,640	99.95
		4223 水道光熱費	5,689,994	4,384,984	1,305,010	129.76
		0001 電気代	4,175,463	3,043,583	1,131,880	137.19
		0002 ガス代	738,639	614,303	124,336	120.24
		0003 水道代	775,892	727,098	48,794	106.71
		4224 燃料費		1,552	△1,552	
		4225 消耗器具備品費	284,607	697,144	△412,537	40.82
		4226 保険料	20,766	9,520	11,246	218.13
		4227 賃借料	105,124		105,124	
		4228 教育指導費	1,478,706	1,257,817	220,889	117.56
		4231 葬祭費	281,160	86,000	195,160	326.93
		4232 車輌費	2,518,673	2,559,357	△40,684	98.41
		0001 燃料費	1,225,601	1,045,143	180,458	117.27
		0002 修繕費	1,293,072	1,514,214	△221,142	85.40
		4234 雑費	2,600		2,600	
		0017 事務費	8,416,327	9,128,384	△712,057	92.20
		4311 福利厚生費	197,368	204,000	△6,632	96.75
		4312 職員被服費	8,191	13,325	△5,134	61.47
		4313 旅費交通費	9,390	6,460	2,930	145.36
		4314 研修研究費	280,210	346,404	△66,194	80.89
		4315 事務消耗品費	320,600	702,721	△382,121	45.62
		4316 印刷製本費	260,063	121,597	138,466	213.87
		4318 燃料費		3,500	△3,500	
		4319 修繕費	454,421	742,254	△287,833	61.22
		4321 通信運搬費	236,681	265,740	△29,059	89.06
		4324 業務委託費	3,489,969	3,529,988	△40,019	98.87
		4325 手数料	20,227	22,605	△2,378	89.48
		4326 保険料	674,746	726,973	△52,227	92.82
		4327 賃借料	751,713	683,669	68,044	109.95
		4328 土地・建物賃借料	120,000	120,000		100.00
		4329 租税公課	131,700	146,300	△14,600	90.02
		4331 保守料	1,397,788	1,390,748	7,040	100.51
		4332 渉外費	2,160	1,800	360	120.00

事業・拠点　[0404:碧南ふれあい作業所]

事 業 活 動 収 支 計 算 書

（自）令和 4年 4月 1日（至）令和 5年 3月31日

（単位：円）

勘定科目			当期残高	前年同月	増減	前年比
		4333 諸会費	59,800	100,300	△40,500	59.62
		4335 雑費	1,300		1,300	
		0027 減価償却費	134,107	93,049	41,058	144.13
		4451 減価償却費	134,107	93,049	41,058	144.13
		サービス活動費用計(2)	113,653,967	108,390,534	5,263,433	104.86
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	6,688,209	17,652,770	△10,964,561	37.89
サービス活動外増減の部	収益	0093 受取利息配当金収益	7,122	12,589	△5,467	56.57
		5821 受取利息配当金収益	7,122	12,589	△5,467	56.57
		0098 その他のサービス活動外収益	1,942,700	1,403,660	539,040	138.40
		5871 受入研修費収益	57,000	55,460	1,540	102.78
		5872 利用者等外給食収益	1,265,700	1,342,700	△77,000	94.27
		5874 雑収益	620,000	5,500	614,500	***.**
		サービス活動外収益計(4)	1,949,822	1,416,249	533,573	137.68
	費用					
		サービス活動外費用計(5)				
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,949,822	1,416,249	533,573	137.68
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	8,638,031	19,069,019	△10,430,988	45.30
特別増減の部	収益					
		特別収益計(8)				
	費用	0047 拠点区分間繰入金費用	2,000,000	3,000,000	△1,000,000	66.67
		4962 拠点区分間繰入金費用	2,000,000	3,000,000	△1,000,000	66.67
		特別費用計(9)	2,000,000	3,000,000	△1,000,000	66.67
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	△2,000,000	△3,000,000	1,000,000	66.67
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	6,638,031	16,069,019	△9,430,988	41.31
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	76,341,163	67,272,144	9,069,019	113.48
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	82,979,194	83,341,163	△361,969	99.57
		基本金取崩額(14)				
		その他の積立金取崩額(15)				
		その他の積立金積立額(16)		7,000,000	△7,000,000	
		6321 その他積立金積立額		7,000,000	△7,000,000	
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	82,979,194	76,341,163	6,638,031	108.70